

チェックテスト 解答

5章 作業療法の周辺

1 作業療法と関連する学問 (p.261)

①

本を読んだり、文章を書くことに慣れていると、患者の気持ちを理解したり目の前で起きている事柄をきちんと文章で記録することができ、作業療法士の仕事に役立つ。

②

物理や化学、ヒトの身体の働きを理解するのに役立ち、作業療法士としての仕事の成果を評価する際にも役に立つ。

③

料理、洗濯、掃除などの家事や、庭掃除や畑仕事などを手伝っていると、その経験は作業療法で担当している患者が地域生活にもどる援助を行う際に役に立つ。

2 医学系科目と作業療法 (p.270)

①

障害や疾病を理解するための基礎となるもので、これらの知識がないと対象者の疾患や障害を理解するための臨床医学が習得できず、作業療法においても対象者の評価や治療・訓練を進めることができなくなってしまうため。

②

対象者を理解するためには学校での学びだけでは足りない。新聞を読んだり、読書したりと知識を増やすほか、スポーツやレクリエーション、遊びなどさまざまな経験をしておくと、ときに対象者の年齢や経験に合った作業療法の治療媒体として、その経験を用いることができる。

③

作業療法基礎科目、評価学科目、治療学科目

の順となっており、進度に合わせて臨床実習科目が設定されている。

3 作業療法と関連する職種 (p.277)

①

作業療法士だけでは何もできない。それぞれの専門職が役割を分担して、対象者とコミュニケーションを取りながら、チーム全体で目標が達成できるように協力していく。

②

管理栄養士は、病院では普段は栄養管理室において、患者に必要な栄養を計算して食事の献立をつくる仕事をしているが、リハビリテーションチームからの依頼でチームに加わり、個別に栄養改善の必要な患者への対応を行う。

③

保育士は一般の保育園以外に障害児の通園施設や入所施設で働いている。そこでは作業療法士や理学療法士などと協力して保育を行っている。